

神戸労災病院

初期臨床研修医 募集要項



2024年度

初期研修医募集要項

神戸労災病院は、下記のとおり 2024 年度の初期研修医を募集します。当院は、協力病院および研修施設と協力し初期臨床研修を行い、マッチングシステムに参加します。

記

1 応募資格

- ・ 2023 年度医師国家試験受験予定
- ・ 2022 年度医師国家試験合格者

2 募集人員

6 名

3 臨床研修プログラム

別添のとおり

4 選考方法

神戸労災病院において採用試験を行う。

- ・ 第 1 回試験 2023 年 7 月 25 日 (火)
- ・ 第 2 回試験 2023 年 8 月 8 日 (火)

(選考試験当日のスケジュール)

12 時 30 分～12 時 45 分 受付

12 時 45 分～13 時 00 分 スケジュールの説明

13 時 00 分～14 時 00 分 小論文 (テーマは当日発表)

14 時 10 分～17 時 00 分 面接試験 (終了時間は予定)

応募人数が多数の場合、スケジュールは変更となる場合があります

5 出願方法

病院へ直接持参又は書留郵便による郵送

提出先 〒651-0053

兵庫県神戸市中央区籠池通 4 丁目 1 - 2 3

神戸労災病院 総務課 初期臨床研修係 宛

6 出願書類

- ① 研修医採用申請書（本院様式）
 - ② 履歴書（本院様式）
 - ③ 受験票・写真票（本院様式）
 - ④ 卒業（見込）証明書（出身大学様式）
 - ⑤ 成績証明書（出身大学様式）
 - ⑥ 返信用封筒（長3封筒（23×11cm）に宛先を明記、84円分の切手を貼付してください。
後日、受験票を送付します。）
- 応募書類の内、「本院様式」となっているものは、本院ホームページからA4でプリントアウトを行い、記載してください。

7 出願期間

- ・ 第1回試験：2023年5月8日（月）～2023年7月11日（火）
 - ・ 第2回試験：2023年5月8日（月）～2023年7月25日（火）
- 郵送の場合は最終日必着とします。
持参の場合は、期間中の平日9時00分～17時00分間に総務課に提出してください。

8 出願に関する注意事項

- ① 提出書類は楷書で正確に記入し、記入漏れがないことを確認のうえ提出してください。
- ② 氏名の表記は戸籍のとおり行ってください。
- ③ 書類提出後に住所等が変更になった場合は、必ず総務課に連絡してください。
- ④ 希望する試験日を必ず記入してください。

9 処遇について

身分：初期臨床研修医として採用します。

勤務時間：8:15～17:00

給与：1年次 350,000円（見込）

2年次 375,000円（見込）

住居：職員宿舎があります。

保険等：各種保険を適用します。

10 マッチングについて

医師臨床研修マッチング協議会が実施するマッチングに参加します。

11 採否通知

マッチング結果の発表を合格通知とします。

ただし、2023 年度医師国家試験受験予定者はこれに合格することを採用条件とします。

12 採用日（予定）

2024 年 4 月 1 日

（2023 年度医師国家試験合格者は、同日までに医籍登録を完了してください。）

13 関係事項の照会先

神戸労災病院 総務課 初期臨床研修係

〒651-0053

兵庫県神戸市中央区籠池通 4 丁目 1 - 2 3

電話番号 : 078-231-5901

FAX 番号 : 078-242-5316

ホームページ : <https://www.kobeh.johas.go.jp>

メール : rosai@kobeh.johas.go.jp

神戸労災病院臨床研修プログラム(概要)

序にかえて

— 研修医教育の目指すもの —

臨床研修は医師としての活動の出発点になります。そこで身につけたことが、生涯を通じて医師活動の基本となる可能性があります。この期間は非常に大切であり、知識や技量だけでなく、医師としての姿勢、医療チームでの協調など学ばねばならないことは非常に多岐にわたります。多くの課題をきちんと身につく形で学習していくことが、本院での臨床研修の大きな目的です。

特に研修医の皆さんに達成していただきたい課題として、患者さんや指導の医師だけでなく、すべての人々と意思疎通がはかれるコミュニケーションの基本を身につけていただきたいと思っています。コミュニケーションの基本は、相手の話を聞くだけではありません。自らの判断や考えを、チーム医療の中で適切に発言、発信していくことが大切です。すべての人の意見に耳を傾け、自らの意見を発言して、その中から治療への道筋をたどる。そのような手法をしっかり身につけていただきたいと思っています。そして、膨大な知識や仕事量に押しつぶされることなく、客観的に医療活動を俯瞰して、その大きな医療現場の中から、自らがその働き場を見出し、活動がきっちりできる医師になる必要があります。まずはできるだけ無理がなく、テクニカルスキルとともに、ノンテクニカルスキルもしっかり身につけ、医師生活を続けていく基礎を固めていただきたいと思っています。

本院研修の特徴は、1年目の基本科目のローテーション方式に加えて、2年目は将来の目指す領域に取り掛かる準備期間としての方向も考慮しながら、多くの異なった領域での医療活動を体験することにあります。特に力を入れているのが、救急医療への取り組みです。本院は二次救急輪番病院であり、月に18回程度の輪番日を設定して、各科の診療を担当しています。実際の救急現場における、種々の救急患者をできるだけ多く診察し、その中から、救急外来の対応をしっかり身につけていただきたいと考えています。各診療科のカリキュラムに従い、適切な研修を積み重ねていだけでなく、他の診療科、部門、スタッフとも協力しながら、真理を解明して、治療の方向性を探ってほしいと願っています。患者さんやその家族とともに、進むべき方向を共有しながら治療を進め、医師の使命感、仕事としての達成感を感じて欲しいと考えています。

令和4年11月

独立行政法人 労働者健康安全機構

神戸労災病院

院長 脇田 昇

1 研修理念

基本的な臨床能力及び、生涯にわたり自己研鑽する態度を身につけるとともに、患者やその家族に対して心のかよった医療を実践できる医師を育成する。

2 基本方針

1. 基本的人権の尊重に努め、深い洞察力と倫理観を有し、プロフェッショナルリズムとしての自覚と責任を持つ医師を育成する。
2. 広い視野と高い見識を持つ医療人を目指し、常に科学的妥当性に基づきながら、将来専門とする分野に関わらず、臨床的に必要なプライマリケアの基本的な診療能力を育成する。
3. 患者さんやその家族の立場に立つ心のかよった医療を実践する医師を育成する。
4. 医療チームの一員としての責務を担い、医療スタッフと協調し、安全で質の高い医療を実践できる医師を育成する。
5. 地域の中核病院としての責務を理解し、地域医療に貢献できる医師を育成する。

3 研修医の目標

将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけるとともに、医師としての人格を涵養する。

4 プログラムの特徴

(1) プログラムの名称：神戸労災病院臨床研修プログラム

- ① 神戸労災病院の研修は基幹型病院であり、この研修プログラムは、協力型病院と協力して実施する。
- ② 1年目の研修
 - ・ 内科、外科・麻酔科、救急を行う。
 - ・ 内科は6ヶ月間とする。（総合内科、循環器内科、消化器内科）
 - ・ 必須選択は3ヶ月間とする。（外科と麻酔科を選択）
 - ・ 救急は本院での救急研修を2ヶ月間、和歌山労災病院での救急研修を1ヶ月間とする。
- ③ 2年目の研修
 - ・ 地域医療を1ヶ月間行う。
 - ・ 精神科は1ヶ月間、明石こころのホスピタル（協力病院）で研修を行う。
 - ・ 小児科・産婦人科は各1ヶ月間、済生会兵庫県病院（協力病院）で研修を行う。
 - ・ 自由選択は8ヶ月間とし、本院での研修できる診療科を複数選択可能である。

ただし、主診療科は最低 4 ヶ月間以上とし、他の期間は 1 ～4 ヶ月を選択可能である。

④ 年間スケジュール

〈1年目〉

0	6	9	12月
内科(6ヶ月) 総合内科、循環器内科、消化器内科		必須選択(3ヶ月) 外科・麻酔科	救急(3ヶ月)

〈2年目〉

0	1	2	3	4	12月
地域	精神	産婦人科	小児科	自由選択(8ヶ月)	

5 プログラムの目的と専攻科の特徴

(1) 目的

医師として、プライマリーケアに対処しうる第一線の臨床医、あるいは高度の専門医のいずれを目指すにも必要不可欠な診療に関する、基本的な知識、技能及び態度の習得を目的とする。

(2) 1年目の研修

① 内科

指導医(総合内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、消化器内科)のもと6ヶ月間研修を行う。研修内容は厚生労働省が指定する必修項目に従い基礎研修を行う。

② 外科

指導医のもと1～2ヶ月間研修を行う。研修内容は、厚生労働省が指定する必修項目に従い基礎研修を行う。

③ 麻酔科

指導医のもと1～2ヶ月間研修を行う。研修内容は、厚生労働省が指定する必修項目に従い基礎研修を行う。

④ 救急

救急部はないが、本院にて独自のプログラムで2ヶ月間研修を行う。他の1ヶ月間は和歌山労災病院救急医療で研修を行う。なお、和歌山労災病院での1ヶ月間は宿舎を用意する。

(3) 2年目の研修

① 地域医療

当プログラムは、開業医（協力施設）とともに、地域医療の重要性や、診療内容、病診連携などについて研修する。加えて、地域医療施設(老健施設や診療所)への出張研修も加える。

協力施設は以下を予定している。いずれも本院から近く、院長（施設長）は過去に本院で勤務された先生方である。

王子クリニック（一般内科・透析）・プリエール（老健施設）

ろっこう医療生活協同組合東雲診療所（内科）

中院クリニック（循環器）

大西内科クリニック（循環器）

また、以下のへき地医療の協力施設もあり、貴重な経験を得ることが出来る。

- ・ 北海道中央労災病院
- ・ 佐世保市総合医療センター宇久診療所
- ・ 似島診療所

② 精神科

1ヶ月間、明石こころのホスピタル病院（協力病院）で研修を行う。

③ 産婦人科及び小児科

各1ヶ月間、済生会兵庫県病院（協力病院）で研修を行う。

④ 自由選択

原則として、本院にて研修できる診療科を選択し、各科の指導の下、研修を行う。

8ヶ月間は自由に診療科を選ぶ。

6 指導体制

原則、研修医1名に対し指導医1名、もしくは指導医の指導のもと上級医が研修医を指導する。

7 処遇

① 給与

臨床研修医として採用する

1年次 月額平均 350,000円

2年次 月額平均 375,000円

② 住居

職員宿舎あり

③ 保険等

各種保険(医師賠償保険含む)を適用する

8 資料請求先

神戸市中央区籠池通4丁目1番23号

神戸労災病院総務課 初期臨床研修係

電話 078-231-5901 F A X 078-242-5316

ホームページ URL <https://www.kobeh.johas.go.jp>

メールアドレス rosai@kobeh.johas.go.jp

9 その他

アルバイトは厳禁です。